



お見事、台中生

校長 続橋 正寿

今月は、生徒向けに書かせていただきます。

芸術の秋。10月27日1・2年生合唱コンクール、10月31日3年生合唱コンクール、11月3日PTA主催の文化事業と行事が満載でした。

合唱コンクールは、どのクラスもいさかいを解決し、団結したのでしょう「one team」となっていました。緊張感漂う真摯な態度、美しいハーモニーと表現力で聴く者を魅了していました。入賞という結果には恵まれなかったクラスもありましたが、皆さんの歌声はただ競い合うだけでなく、聴いている人々の心を打ち、共感を与えるものでした。特に3年生の合唱は、完成度が高いのはもちろんのこと、この行事にける意気込みも伝わってきました。皆さんの活躍が後輩の模範となり「先輩たちのようにになりたい。」と憧れられるほどでした。

楓祭集会では、生徒たちの一生懸命な練習の成果が十分に発揮されました。笑顔あふれる吹奏楽部の楽しく心地よい演奏、そして文化祭実行委員によるダンスパフォーマンス、精錬された動きと表現力で会場を圧巻していました。踊っている生徒たちは、魂を込めて踊り、その姿を見守る生徒たちも大いに楽しんでいました。また、生徒に交じって先生方も歌やダンスを披露し、会場は、まるでライブコンサートのようなものでした。今の中学生に「マツケンサンバ」はわかるのかなと思いつつ、私自身も大いに楽しませてもらいました。先生方の熱意、しっかりと感じましたよ。

文化祭実行委員会を中心に全校生徒で創り上げた文化祭、とても素晴らしかったです。生徒の皆さん、先生方、お疲れ様でした。そして、感動をありがとうございました。

PTA主催の文化事業では、演劇部と合唱部の発表がありました。演劇部の「ごめんね！ごめんね！」は、人との接し方がテーマのように感じましたが、見る人によって感じ方や考えさせられるところが様々だったと思います。私は、この劇のように生徒たちが自らの力でトラブルを解決することの重要性を感じていました。心配のあまり、生徒自身が乗り越える機会を大人が奪わないようにすることの大切さをあらためて痛感しました。迫真の演技、素晴らしかったです。また、合唱部の発表は、少ない人数にかかわらず、透き通った声で美しいハーモニーを響かせていました。特に3年生4人の合唱には、1つのパートを1人で担当していましたが、笑顔で堂々と歌う姿に感激しました。2つの部の皆さん、素敵な発表を見せていただき、ありがとうございました。

コロナ禍で行事ができない時期や多くの制限を強いられたことで、一体感を味合う素晴らしさや集団で努力することの大切さ、コロナ禍以前の良き伝統が怪しげになっていましたが、3年生が率先垂範で取り組み、全校生徒のがんばりで前にも増して良いものとして復活させることができました。1・2年生の皆さん、来年度以降、この素晴らしい伝統を維持、発展させられるように頑張ってください。

ようやく本来の学校の姿が戻りつつあります。保護者の皆様にも直接見ていただく機会を増やせるように努めていく所存です。今後とも本校教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

横浜市立日吉台中学校 第30回 文化祭

【1年生】

～ 初めての合唱コンクール・楓祭 ～

この時期、台中には各学年の歌声が校舎いっぱいに響き渡ります。青学年の生徒たちも、入学して初めて迎える合唱コンクールに向けて、練習を重ねました。先輩のクラスや同学年のクラスとの交流練習もよい刺激となって、合唱のレベルアップにつながったようです。感想に目を通すと、文化祭実行委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーへの感謝の気持ちと共に、結果はどうあれ本番までの過程でクラスの気持ちがまとまって創り出すハーモニーの心地よさを感じ取り、充実感をもって行事を終えた人がたくさんいたことに、次年度の合唱が早くも楽しみになりました。



1年 文化祭実行委員 男子



最優秀賞9組 優秀賞6組 優良賞1組



1年 文化祭実行委員 女子



【2年生】

合唱コンクールに向けて日々たくさんの練習をしてきました。指揮者、伴奏者、パートリーダーを筆頭に、熱心に練習に取り組む姿が見られました。また、交流会をすることで、先輩からいい刺激をうけたり、後輩に先輩としての姿を見せたりしていました。順位はつきましたが、どのクラスも1つになった迫力がある歌声で合唱することができました。

文化祭実行委員会の2年生は、10月31日の午後に実施され楓祭でブラザービートを披露しました。実行委員が自分たちで考えたポーズを曲に合わせてカッコよくポーズすることができました。練習してきた成果を出し切ることができ達成感に満ちた様子の実行委員でした。



//////////////////////【3年生】//////////////////////

今年度は制限が緩和され、教室でクラス合唱ができるようになり、昨年度以上に歌声が3階フロアに響き渡っていました。どのクラスにも共通していたのは、「中学校最後の合唱コンクールを成功させたい!」「最優秀賞を取りたい!」という生徒たちの強い想いでした。その想いを後輩に伝える場にふさわしい『交流会』も行われ、先輩としての素晴らしい歌声と姿勢を伝えることができました。迎えた本番は、どのクラスも本当に素晴らしかったです。午後には楓祭集会も行われ、3年生は体育館で鑑賞できました。昨年度までは映像でしか感じるこのできなかった演奏を、生で感じることができました。迫力もあり、臨場感が素晴らしかったですね。体育館が一体となって盛り上がりました。

これで大きな行事はひと段落します。ここからは、自分の将来に向けて頑張っていかなければなりません。合唱コンクールに向けて、クラスや学年として頑張ってきたみなさんなら、お互いを支え合って頑張ることができると信じています。一緒に頑張りましょう。



最優秀賞 9 組 優秀賞 5 組 優良賞 3 組・7 組

文化祭実行委員一同

//////////////////////【個別支援級】//////////////////////

今年度の合唱コンクールは、交流級のみなどと一緒に行いました。1年生や2年生は初めて、3年生は2回目の合唱コンクールでした。合唱練習の中で、学年間の交流も活発になり、合唱の交流会で11組の先輩や後輩ががんばっている姿を見たクラスで教えてくれた生徒もいました。いよいよ迎えた合唱コンクール本番では、ステージに上がってクラスのみなどと心を揃えて歌うことができました。また、他のクラスの発表もよい姿勢で聞いていました。終わった後には「交流級のみなどと歌を歌うのが楽しかった。」「どのクラスの曲も素晴らしい発表でした。」と振り返りをしていました。ぜひ来年度も合唱コンクールを通して、みんなと歌う喜びや達成感を感じてほしいと思います。

演劇部門では、演劇部の発表を見て、内容に入り込むように見ている生徒がいました。その中でも「ごめんね」という言葉の大切さを学ぶことができました。3年生は吹奏楽部や合唱部の発表を体育館で鑑賞できました。演奏や合唱の臨場感と学年の先生たちの気合の入ったパフォーマンスに盛り上がっていました。展示部門では、今まで取り組んだ作品を発表しました。今年はどの柄や色を使うのか悩みながら作成した刺しゅうや、刃の使い方を工夫しながら取り組んだ切り絵を展示しました。また、美術の授業で行った、塗り絵と緑黄色野菜の紙粘土造形を新しく展示しました。時間をかけて丁寧に作った作品に達成感を感じていました。



紙粘土造形



スウェーデン刺しゅう



塗り絵と切り絵